

# 平成 17 年度 事業報告書

(自 平成 17 年 4 月 1 日～至 平成 18 年 3 月 31 日)

社団法人 日本小児保健協会

## 平成 17 年度事業報告(自 平成 17 年 4 月 1 日～至 平成 18 年 3 月 31 日)

### 1. 会員数

|      | 平成 17 年 3 月 31 日  | 平成 18 年 3 月 31 日現在 |
|------|-------------------|--------------------|
| 普通会員 | 5,513 名           | 5,367 名            |
|      | (個人 5,143 機関 370) | (個人 5,029 機関 338)  |
| 賛助会員 | 16 社              | 16 社               |

### 2. 事業

#### 1) 日本小児保健学会の開催

第 52 回日本小児保健学会は、山口大学医学部生殖・発達・感染医科学講座/小児科学 古川 漸教授を会頭のもと、平成 17 年 10 月 6 日(木)・7 日(金)・8 日(土)の 3 日間、「健全な社会に向けての小児保健」をテーマとして、海峡メッセ下関(山口県下関市)において開催された。参加者は、1,500 名であった。

#### 2) 役員会等の開催

全国理事会 3 回、支部長会 2 回、常任理事会 6 回、評議員会 2 回、合同委員会 1 回、編集委員会 6 回、予防接種・感染症委員会 6 回、発育委員会 3 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 2 回、新生児委員会 1 回、学校保健委員会 1 回、栄養委員会 1 回、小児医療委員会(チャイルドシート検討委員会) 1 回、を平成 17 年度に開催し、本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

#### 3) 機関誌等の刊行

雑誌「小児保健研究」を 6 冊(第 64 巻 3 号～第 65 巻 2 号)刊行した。また、小児保健シリーズとしては、No.59「不定愁訴を持つ子どもへのアプローチ」を刊行し、今年度よりシリーズ(No.59)を会員全員へ配布した。

#### 4) セミナーの開催

第 22 回小児保健セミナー「不定愁訴を持つ子どもへのアプローチ」を平成 17 年 6 月 19 日(日)に野口英世記念会館において開催し、参加者は 168 名であった。

#### 5) 協会活動

- ① 編集委員会・予防接種・感染症委員会・発育委員会・新生児委員会・小児救急の社会的サポートに関する委員会・新生児委員会・学校保健委員会・

栄養委員会・小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会・事故予防委員会）・健やか親子 21 第 4 課題推進会議委員会のそれぞれが本協会の目的のために活動した。

- ② 平成 17 年度小児保健協会活動助成が下記の通り決定し、第 52 回日本小児保健学会総会時に表彰式を行った。

《研究助成》

- 1.長谷山 まき・他（秋田県岩城町保健センター）

『地域保健と学校保健事業の連携～一貫した健康情報の管理とその活用を拓く～』

《実践活動助成》

- 1.徳島県小児保健協会 谷 洋江（徳島大学医学部保健学科）

『育児困難家庭に対する周産期からの地域連携支援』

- 2.兵庫県小児保健協会 高田 哲（神戸大学医学部保健学科）

『極低出生児とその親のための教室事業；YoYo クラブ』

《発達臨床研究賞》

- 服部 伸一・他（倉敷市立短期大学）

『テレビ視聴時間の長短が幼児の生活習慣に及ぼす影響』

（小児保健研究第 63 巻 5 号掲載）

- ③米国ハリケーン・カトリーナおよびパキスタン北部地震の被害児に対する義援金を拠出した。

6) その他

日本小児科連絡協議会「子どもをタバコの害から守る」合同委員会を 6 回開催し「子どものための無煙社会宣言」、「タバコ自動販売機の廃止に関する要望書」を作成し公表した。シンボルマーク「子どもは歩く禁煙マーク（案）」を作成した。引き続き目的に沿った活動を行う。

### 3. 平成 17 年度総会

平成 17 年度総会は、平成 17 年 10 月 27 日（金）、海峡メッセ下関（第 52 回日本小児保健学会）において出席者 154 名に委任状 2,578 通を加え、会員の過半数に達したことを確認の上、議長に会頭 古川 漸 先生を選出し、議事録署名人に岩田 力・飛田正俊両会員を指名し開催され、下記の各議案が承認された。

- 1) 平成 16 年度事業報告・収支決算報告・監査報告
- 2) 平成 17 年度事業実施報告

- 3) 平成 18 年度事業計画案（自 平成 18 年 4 月 1 日～至 平成 19 年 3 月 31 日）
- 4) 平成 18 年度収支予算案
- 5) 新理事・監事・評議員

#### （Ⅰ）平成 18 年度事業計画案

##### 1) 日本小児保健学会開催

第 53 回日本小児保健学会は、山梨大学医学工学総合研究部・医学部臨床看護学講座 大山 建司 教授を会頭として、平成 18 年 10 月 26 日（木）・27 日（金）・28 日（土）の 3 日間、アピオ（山梨県甲府市）を学会会場として開催される。

テーマ「子どもを取り巻く危機にどう立ち向かうかー安全な環境を求めて」

##### 2) 機関誌等の刊行

「小児保健研究」を年度内に 6 冊刊行する。また、小児保健シリーズを 1 冊以上刊行し、支部活動に役立てる。

##### 3) 講演会等の開催

支部と共同して、母子保健指導研修会を含む研究会・講演会等を開催する。

##### 4) 教育普及の拡充

協会の事業として教育普及活動の拡充につとめる。

第 23 回小児保健セミナーは、「予防接種 2006」をテーマとして、平成 18 年 6 月 18 日（日）に、野口英世記念会館にて開催予定である。

##### 5) 協会活動の充実

小児保健協会活動助成（研究助成・実践活動・発達臨床研究）の授賞者の決定および表彰を行う。

本協会の目的に役立つ事業の実施につとめる

#### （Ⅱ）平成 18 年度収支予算案が承認された。

### 4. 平成 17 年度収支決算報告

平成 17 年度収支決算は、平成 18 年 10 月開催の第 53 回日本小児保健学会総会にて承認の手続きがとられる。

### 5. 新役員について

## 6. 平成 17 年度名誉会員

東 京：日暮 眞

滋 賀：島田 司巳

鳥 取：白木 和夫

## 7. 人事について

| 支部長の交代 | (地区) | (旧)     | (新)   |
|--------|------|---------|-------|
|        | 香川   | 故 大西 鐘壽 | 伊藤 進  |
|        | 鹿児島  | 鉾之原 昌   | 武井 修治 |
|        | 徳島   | 黒田 泰弘   | 香美 祥二 |

## 8. 訃報

|         |       |                  |
|---------|-------|------------------|
| 名誉会員    | 森 重孝  | 平成 17 年 6 月      |
| 前・理事    | 市橋 保雄 | 平成 17 年 8 月 7 日  |
| 評議員・支部長 | 貴田 嘉一 | 平成 18 年 1 月 29 日 |

## 9. 第 54 回以降の日本小児保健学会会頭について

### 1) 第 54 回日本小児保健学会会頭

群馬大学大学院医学系研究科生体防御学機構小児生体防御学分野  
教授 森川 昭廣

### 2) 第 55 回日本小児保健学会会頭

札幌医科大学医学部小児科学教室  
教授 堤 裕幸

## 11. その他

### 1) 定款改定について

### 2) 乳幼児健診に関する件